

先日の
商案件の
報酬の
相談

フォンテーヌに
同行しての
法的業務代行…

他には…

旅人
ようやく来たな
待っていたよ

今日は
精算の日だ
覚悟しろ？

詳しい内容は
部屋で話そう

まあいい

早くら！





煙緋…
これは…？

ああ…
これは

お前が
放置していた
契約書だな

…ええ…



ん？助力は
不要だったか？

それなら後日
まとめる前の
書類を送ろう

たっくに
五倍の
量しかない

わかった！
ごめん！
すぐやるから！！



ある程度
まとめて
おいた

さっさと
片付けよう

精算って
これの事…？

わざわざ
時間を取って
することじゃ…



もちろん
この作業も私への
ツケだからな

えっ

ふふふ

世話が
焼けるな
お前は



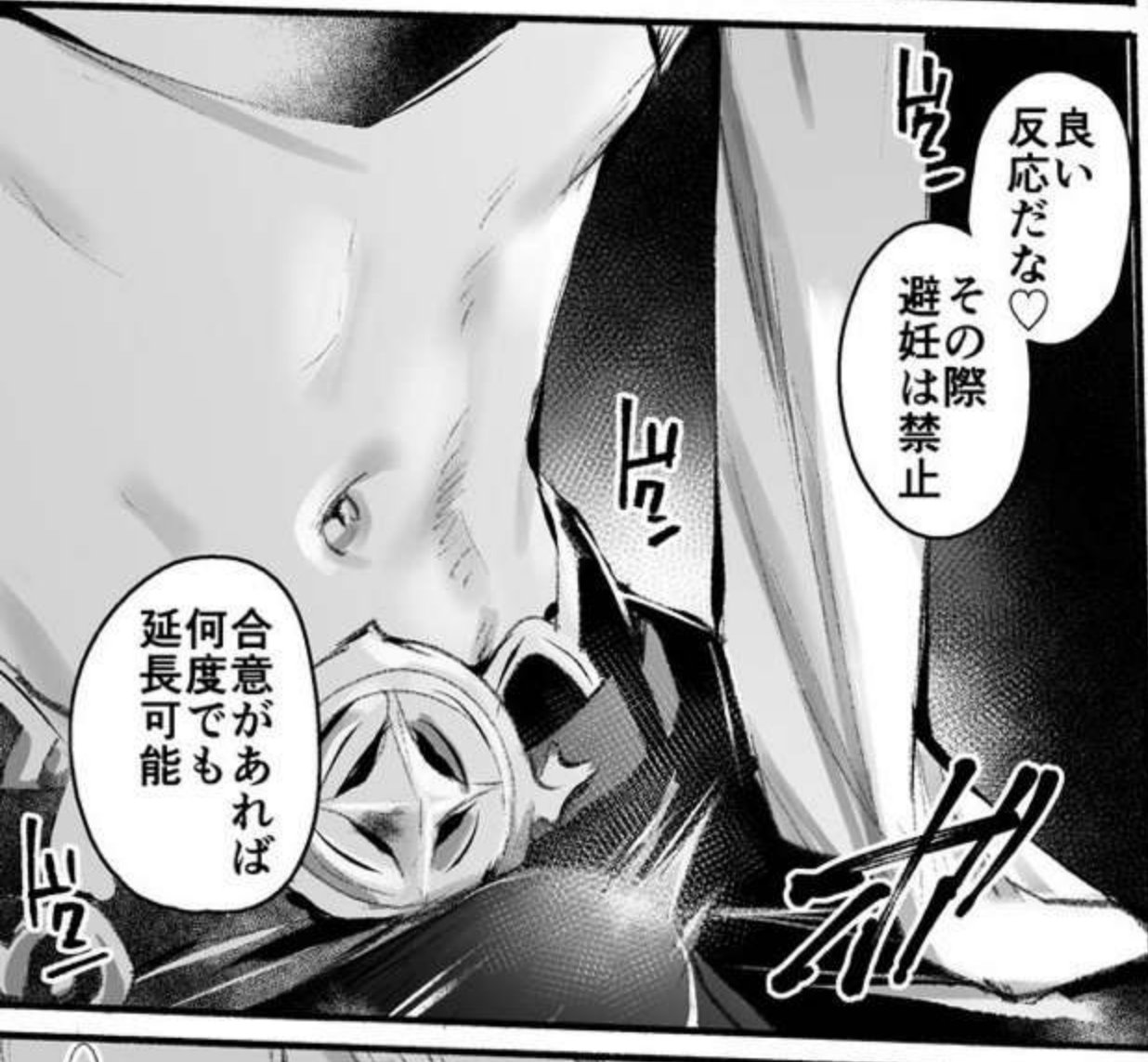
ようやく
終わったな

それでは私への
支払についての
契約だが…

まだ
あるの…！？

安心しろ

ア







あの旅人が
こんなにも...

必死になって
私の身体に
食いつくなんて

支払いとしてみろ
なんて言うてみる
ものだな



嬉しいやら
恥ずかしいやら...

私自身も思っていた
以上に旅人のことを
求めていたようだ



指を
抜いた...?

...もう少し
撫でて欲しかったが
もう挿れるのか?

...何?

次は舐めても
良いかって?

構わない
とも

お前は
奉仕精神に
溢れているな





指よりも
浅いのに...

今までより
ずっと奥に響く



旅人の体温が
直に伝わってくる
からだろうか?

なにせよ...



身体が疼いて
悶えてしまう



もっと...



もっと深く
きてくれ...





お前は本当に
とんでもない
奴だな

全く…



これで私を更に
悦ばせてくれ…♡



もう待ちきれ
そうに無い…!!

アッ



先の方で
入口をねちねちと
ほぐしてくる...

身体の疼きが
収まらない



早く奥に
入れて欲しい



まだ
なのか...?



まだ...



旅人...!
そんなに焦らされると...



焦らされた分
敏感に感じ…っ

なんだ
これは

まじ

おかしい

やばっ…





まっ…

待ってっ
おい…!!
旅人!!

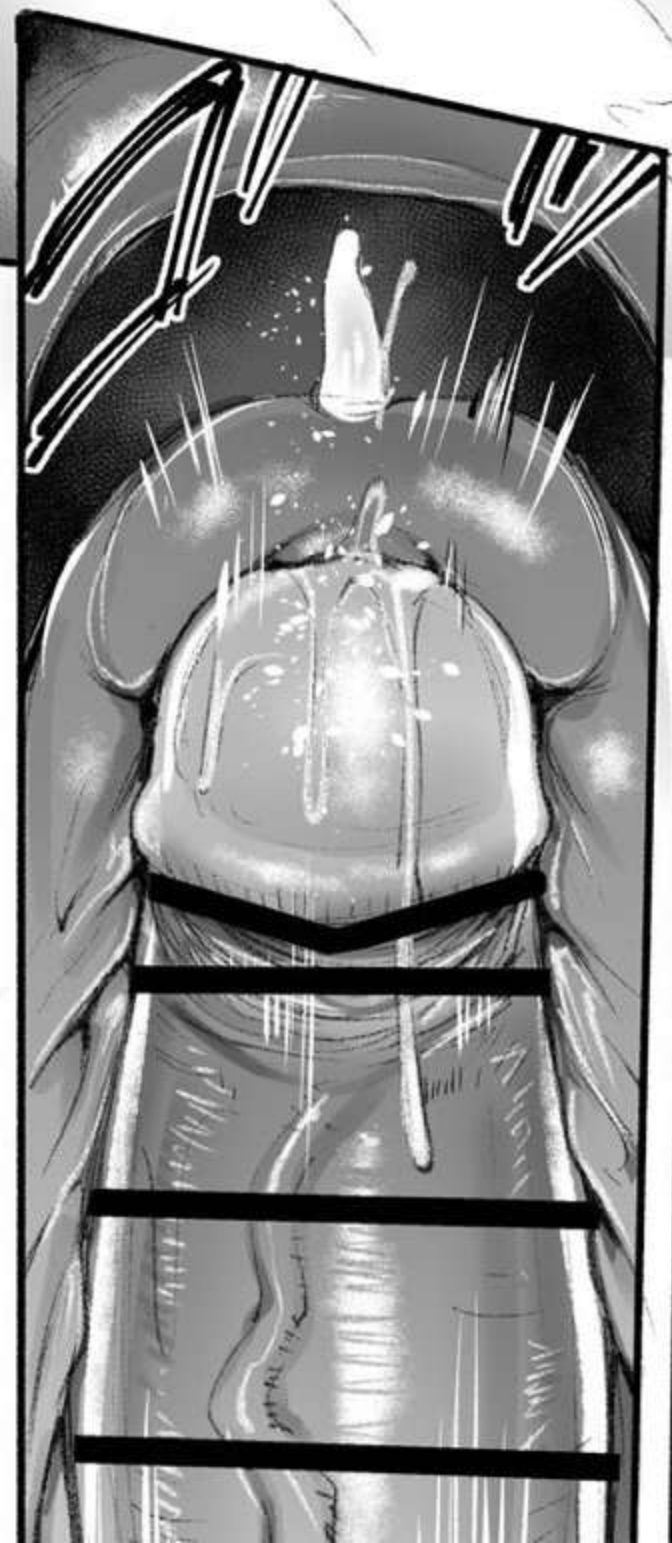
…あ

ごめん
夢中で…

あの煙緋が
おもしろいなんて
興奮しちゃった

言うなバカ!
死ぬほど
恥ずかしいんだ

余裕が無さそうな
その表情…!!
最高にエロいな!!





本来は私本位の
契約なんだぞ？

アハハハ...

全く...
終始お前の
好きにされる
なんて...

しかし
まあ...

私は延長を
望んでいるが...
お前は
どうだろうか？